

7月12(月)

## ポケットがない

聖書朗読 詩篇 49:1~15

自分の宝は、天にたくわえなさい。 マタイ 6:20

友人のサリー・ストーンは葬儀ディレクターの学校の1年目をちょうど終えたところでした。その1年間、彼は地元の葬儀社で見習いとして働きました。友人のリスターと私は彼を訪ね、そしてサリーの就こうとしている職業について聞きました。

「この1年、葬儀業界について学んだ中で最も興味深かったことはなんですか？」とリスター。

サリーは答えました。「そうだね、リスター、この仕事は、本当に多くの興味深い側面がある特殊な仕事だということが分かったんだ。そして、ある日とても驚いたことがあったよ。」

ある方が亡くなって、ご家族が故人のためのスーツを用意できない場合は、私達の方で用意するんだけど、そのスーツは葬儀社と取引のある専門の業者から購入するんだ。ある日、そのスーツを手にとってよく見てみると、そのジャケットにはポケットらしきものがついているんだけど、飾りポケットだったんだよ。そのスーツのどこにもポケットはついていなかったのさ。あの世には何も持っていけないという昔から伝わる言葉は本当だったみたい。つまり、自分の宝は、天に蓄えておいた方がいいってわけだね。」

讃美歌 267

祈り ご在天のお父様、この世の宝は何一つ持っていけないこと、永遠の宝だけが手に残ることを理解するのを助けてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

スティーブ・マクレーン  
テキサス州 ロックニー

## 今日のカ

2021年7月12日~7月18日

翻訳 阿部 やよい

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

7月13日(火)

## 最後は

聖書朗読 詩篇 49:1~15

人は、その栄華のうちにとどまれない。人は滅びうせる獣に等しい。

詩篇49:12

ある時、その村で裕福で優秀な者が亡くなりました。この数年の間の村人たちの興味は、彼の財産についてでした。我慢できなくなったある村人が、内情に通じている故人の友人に聞きました。「彼はいくらくらい残したの？」そしてその友人は答えました。「彼が持ってた物、全てだよ！」

よく知られていることわざがあります。「あの世には何も持っていけない。」この言葉は詩篇49篇の英知です。どんなに財産を残したとしても、最後にあなたは死にます。そして他の誰かがあなたの残したものを手にするのです。このことを良く分かっているのに、お金が全てみたいな生き方をしてしまっているときがありませんか？私達は自分の子どもたちの将来のためにお金を追い求めて、働き詰めに働いて、ほとんど家にいず、家族との時間を過ごすことができているわけではありませんか。人はいつだって光り輝く新しい物を求めますが、心の中にある喜びを求めることが出来ません。しばしば病気や不幸でしかたなく遠回りしなければならぬ時に初めて大切なものが何か気付くのです。つまり、いつも私達は霊的な道よりも自身の欲を優先してしまいます。そして、だいたい後でわかることなのですが、「愚か者どもの道」を歩んでしまうのです(13節)。

賢い者は神に信頼を置きます。賢い者たちは、最後には、何が一番重要なのかを考え、神以外は必要ではないことを知っています。詩篇の作者は言いました。「しかし神は私のたましいをよみの手から買い戻される。神が私を受け入れてくださるからだ」(詩篇49:15)と。

讚美歌 358

祈り 親愛なる主、御国は永遠の御国です。その真理の光の中に私の命を見ることができるよう、あなた様の治世のもと日々賢く歩んでいけるようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州シャローウォーター  
ディビット・パウンズ

7月14日(水)

## 呼び名とは？

聖書朗読 詩篇 50:1~6

神はモーセに仰せられた。「わたしは、『わたしはある。』という者である。」

出エジプト 3:14

冗談みたいなものも含めて、誰しもの呼び名を持っています。気付いた、実に愚かな、これみよがしな呼び名もあります。普通の人でさえも、呼び名をつけられてしまうことが多いです。ジョン・アダムスは初代大統領を「殿下」とふざけて呼んでいましたが、それはまるで王族を呼ぶようでした。ジョージ・ワシントンは謙虚に「ミスタープレジデント」を自身の敬称(呼び名)に選びました。

神には呼び名はいりませんが、神が様々な敬称、例えば、「主」、「助け主」、「慰め主」などで聖書には説明されています。その敬称によって、私達は、神が誰なのか、何をされるお方なのかを知ることが出来ます。敬称は私達の旅において神を見つけるのを助けてくれ、神を讚美することを助けてくれます！勿論、敬称だけでは神を完全に説明することはできませんが。

「神の神、主」はシンプルで正しい敬称です。表面的ではありますが、神が何をされたかを知ることが出来ます。神の力や神の支配を知りましょう！「主は語り、地を呼び寄せられた。日の上る所から沈む所まで。」真に、「麗しさの極みから神は光を放たれた。」

神は私達にも語っておられます。私達が負うべき責任がたくさんある時、神の神、主から呼ばれたときに応えることが私達の最優先事項です。私達には、神の他に行く所はありません！

讚美歌 273A

祈り 親愛なる主、あなた様の支配と偉大な力にひれ伏します。そして己の罪を告白します。あなた様だけが我が神です。あなた様の腕の中に私達を抱き寄せてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

マイケル・ダイトモア  
カリフォルニア州 ニューベリーパーク

7月15日(木)

## 正しい礼拝

聖書朗読 詩篇 50:14~23

主が、ことごとく私に良くしてくださったこのについて、私は主に何をお返ししようか。  
詩篇 116:12

私がアフリカで出会った友人たちは、なんのてらいもなく感謝の気持ちをすぐ表します。彼らの会話の中にはいつも「ありがとう」が溢れています。ですから、もし、私が彼らの一人に「マンゴーをわけてくれてありがとう」と言って、彼らが「どういたしまして。お礼を言ってくれてありがとう」と言ったとしても私は驚きません。アフリカの友人たちは、されたことに言葉で率直に感謝することができます。お返しをするとかいうことは必要ないのです。

詩篇50章では、神様は、全ての物の支配者であり、所有者だと記されています。全ての雄牛やこの世のもの全ては神様のものですから、飢えを満たすために人々からの全焼のいけにえを望んでいるのではないとはっきりと仰っています。神は雄牛の肉も雄やぎの血も必要ないのです。ただ人々が心から捧げる感謝のいけにえ、つまり心からの感謝の気持ちが必要なのです。

私達には神が必要です。これだけでよいのです。いけにえを捧げるから神から何かをいただけるのではありません。私達の手にある全ての良いもの、神から受けたいぐみの全ては、神の永遠の愛の表れだからです。神は日々私達に贈り物を下さることを望んでおられます。

この詩篇に記されている正しい礼拝とは、私達の必要と感謝を神に伝えることです。今あなたには何が必要ですか？神は聞いておられます。ちょっと考えてみましょう。今週神があなたのためにしてくださったことについて考えて見ましょう。あなたはそれに対して神に感謝の言葉を口にしましたでしょうか？

祝福を下さいと祈るより

祝福を頂いたことに感謝することのほうがよっぽど大事である。

ウィリアム・テンプル

讃美歌 子ども讃美歌 ハレルハレルハレルヤ

祈り 親愛なる主、日々私を救い、助けてくださり感謝いたします。私の周りであな様がしてくださっていることを全て見逃さなよう私の目を開いてください。そして私がそれに気づいたとき、感謝のいけにえを喜んで捧げることができますように。

イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

テキサス州 アビリン

イアン K. シェルバーン

7月16日(金)

## 罪人の願い

聖書朗読 詩篇 51:1~10

私は自分のそむきの罪を知っています。私の罪は、いつも私の目の前にあります。  
詩篇 51:3

詩篇51章は私を落ち着かない気持ちにさせます。自身の罪のことで苦悩しているダビデの言葉を読むと、ダビデと神との極めて個人的な会話を盗み聞きしているような気分になります。不道徳なダビデが神の前で何をしたかを私はよく知っています。なぜなら第一サムエル記11章と12章に記録されているからです。

しかし、この詩篇はまた違った意味で私を落ち着かない気持ちにさせます。ダビデ自身が犯した罪への自責の念が綴られています。私が犯した罪はダビデの罪とは違いますが、彼の言葉を読むと否が応でも自分が犯した罪の深さを思い知るのです。ダビデは私の罪はただの欠点や弱さではなく、神の前では悪であることを教えてくれます。

神はイエス様を通して私達の罪を許してくださいと約束してくださっています。しかし、私は、自分の罪を正面から見ることを避け、自分は弱いから仕方がないなどと言い訳を言ったりしてしまっています。自分の罪と真正面から向き合い、神の前にそれを差し出しましょう。神が私を「雪よりも白く」(51:7)してくださいませ。詩篇51章は、罪がもたらした絶望を思い出させ、私の人生において罪の重さを感じさせてくれます。自分が罪深いことを認めた時、私は砕かれ、深く悔いた心を神に差し出さずことができます。そして神は、その差し出したいけにえを「さげすむ」ことはされません。(51:17)

讃美歌 271

祈り 親愛なる神、自身の罪を知り、あなた様の前で犯した罪の深さをはっきりと知ることができるようお助けください。あなた様を裏切ったときでさえも清めの方法を与えてくださり、御前から投げ捨てなかったことに感謝いたします。

イエス様のお名前によって。アーメン。

スタッフオード・ノース

オクラホマ州 エドモンド

7月17日(土)

## 砕かれ、建て直す

聖書朗読 詩篇 51:17

神へのいけにえは、砕かれた霊。砕かれた、悔いた心。神よ。あなたは、それをさげすまれません。  
詩篇51:17

ダンはお金持ちになることを夢見て住宅建設業の道に入りました。長時間必死に働き、自身の会社に再投資を繰り返し、アメリカンドリームを実現しました。これで万事うまくいくはずでした。でもそうはいきませんでした。3回の倒産を経験し、後に離婚を経験しました。その中で、彼は人を傷つけ、また人に傷つけられました。しかし、ダンにはクリスチャン家庭で育ったため、最悪のとき、「うまく行かなかった」ことを認め、主に立ち返りました。

ある日、マタイの6章33節に次の言葉を見つけました。「神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものは全て与えられます。」ダンの心は、また、新たにされました！今回は大きな仕事を夢見るのではなく、堅実な道を進みました。建築上に携わっていた息子と一緒に一般的な戸建住宅を建てる会社を立ち上げ、スタートしました。大きな違い？それは霊的なものです。ダンと息子は、会社の利益の十分の一を主のために捧げることを主に約束しました。個人の捧げものとしてではなく、会社として捧げました。20年間で4000軒もの家を立てました。そして、ダンはそのに加えて一年に900万ドル以上を世界中の宣教活動のために捧げました。

ダンの心は砕かれ、主に立ち返りました。約束は本当だったのです。「主は心の打ち砕かれた者の近くにおられ、たましいの砕かれた者を救われる」(詩篇34:18)。あなたの心は主の前に砕かれていますか？我が主はあなたの人生を再建してくださいませ。

讃美歌 II 167

祈り 御在天のお父様、イエス様の御名によって、御国のために、私の砕かれた心を強めてください。本当に大切なことを広めることができるよう、あなた様の霊によって私を強めてください。  
イエス様のお名前によって。アーメン。

ボブ・マイズ  
テキサス州 ラボック

7月18日(日)

## みことば！

聖書朗読 詩篇 52:1~7

イスラエルよ。どうしてあなたを見捨てることができようか。どうしてあなたを引き渡すことができようか。  
ホセア 11:8

百聞は一見にしかずという言葉ありますが、人の心を押し潰すのは案外ちょっとした馬鹿げた、軽はずみな言葉のような気がします。あなたを傷つけたいと思う人は、あなたに悪意のある非難の言葉を言えばよいのです。そのことばは、簡単に、人を傷つけます。悪意のある人は、言葉によって、主へ闘いを挑みます。

しかし、全く対照的に、みことばは、めぐみを宣べ伝え、私達は高価で尊い者であると伝える救いの言葉です。みことばは私達を贖い出し、勇気づけます。みことばは私達を絶望から引きずり出し、希望へと導きます。たとえ私たちが間違っている事をしている時でも、みことばはその間違いを正し、裁きを超えた修復の道を示してくれます。神は私達を見捨てません。神のあわれみは深く温かいのです。

つまり、私達が親切な、励ましの、優しい、助けとなる言葉を周りの人に発するとき、私達は神とパートナーとなりその人を導くのです。

讃美歌 II 80

祈り 我が父、今日あなた様のパートナーとなり、あなたに寄り添って、あなたとともに良いもの全てを勧めることができますように。私の言葉が親切で、誰かの助けになり、優しいものと証明されますように。  
イエス様のお名前によって。アーメン。

マイク・サンダー  
アイダホ州 ボイズ